

平成25年度に実施する主な取り組みと計画目標について

1 平成25年度に実施する主な取り組み

基本方針1 市民・事業者・市の協働によるごみを出さない社会づくりを推進します。

計画事業名	主な取り組み
1 ごみ減量のための「ちばルール」の普及・拡大	(拡)商店街のちばルールへの加入拡大 ○市民への既存協定店の取組PRのための店頭キャンペーンの実施 ○ごみの減量・再資源化に貢献したちばルール協定店に対する優良店表彰の実施
2 国及び他自治体との連携	○九都県市廃棄物問題検討委員会 減量化・再資源化部会での3R普及促進事業の実施 ○災害時における相互支援・広域連携の体制構築
3 3R教育・学習の推進及びごみ処理に関する情報の共有化	(新)大学横断的組織の立ち上げ支援及び市との協働によるイベントの開催 (新)住宅管理会社との連携による単身者向け啓発 ○小学生によるごみ出しチェック「ヘラソーズ」の実施 ○ごみ分別スクールの実施 (H24:117校→H25:114校) ○若年層を対象としたごみ減量等PRの実施 ○大学生との連携による未就学児への3R啓発 ○チャレンジ1000 (町内自治会等を対象とした説明会)、出前講座の開催
4 生ごみ、剪定枝の排出抑制の推進	(拡)生ごみ減量処理機及び肥料化容器購入費用の助成 (前年度比各50基増) (拡)段ボールコンポスト制作講習会の実施拡大 (新)生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣の充実 (小学校で実施する「生ごみリサイクル教室」へのアドバイザー派遣) ○剪定枝等の小さな循環システムの検討 ○剪定枝チップ機の貸し出し
5 発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)の促進	○リサイクル情報コーナーにおける不用品交換情報の提供等
6 料金の見直しによるごみの排出抑制	(新)家庭ごみ手数料徴収制度の実施 (平成26年2月から) (新)家庭ごみ手数料徴収制度実施に係る周知・啓発 ○家庭ごみ手数料徴収制度実施に伴い、処理施設への搬入手数料を適宜見直していくため、周辺市町村の動向把握を実施
7 ごみ出し支援サービスの実施	(新)高齢者・障害者へのごみ出し支援事業の実施 (平成26年2月から)
8 環境美化の推進・不法投棄の防止	(新)監視カメラ等の貸与 (平成25年6月から) (拡)不適正排出ごみに対する指導の強化 (平成25年12月から) (拡)ごみステーション美化活動等に関する表彰制度の拡充 ○美しい街づくり活動団体の支援 (180団体) ○不法投棄防止看板・ステーション看板の配布 ○不法投棄月間 (6、12月)に市政だよりへ特集記事の掲載
9 C-EMSによる市庁舎等における率先した3Rの推進	(拡)C-EMS (チームス)の適用範囲を指定管理者施設に拡大し、すべての市施設 (約500施設)に適用。 ○C-EMS適用施設による省エネ行動の実施と温室効果ガスの排出削減の実現 ○市の施設に対する分別徹底等の周知による廃棄物排出削減の継続

(新)は新規、(拡)は拡充して実施する取り組み

基本方針 2 分別の徹底・推進・拡充による高度な資源化への挑戦により、焼却ごみの継続的な削減を目指します。

計画事業名	主な取り組み
1 0 市民・事業者との協働による再資源化の推進・支援	(新)廃棄物適正化推進員及び不法投棄監視員美化活動ガイドラインの運用 (新)雑がみ分別BOXを作成し、立入調査の際に事業所へ配布 ○許可業者との連携による事業所への情報提供 ○中小規模の事業所に対する周知・啓発の推進
1 1 地域コミュニティ・事業者間ネットワークを活用したごみ減量の推進	(新)大学横断的組織の立ち上げ支援及び市との協働によるイベントの開催（再掲） (新)廃棄物適正化推進員及び不法投棄監視員美化活動ガイドラインの運用（再掲） ○業界団体や商工会等の組織団体に対する情報提供
1 2 ごみ排出ルールの遵守・指導徹底	(新)廃棄物適正化推進員及び不法投棄監視員美化活動ガイドラインの運用（再掲） (拡)ごみステーション美化活動等に関する表彰制度の拡充（再掲） ○ごみ分別排出指導及び持ち去り対策の強化
1 3 多様な排出機会の提供と動機づけによる古紙等の再資源化の推進	(新)回収量の拡充及び回収活動の促進のための新たな啓発活動を実施 ○活動が顕著な団体を積極的に表彰 ○資源回収奨励補助金の交付及び保管庫等用具の貸与 ○集団回収の実施（H24：17,500 t →H25:17,600 t） ○古紙回収庫（市内20か所）での古紙回収の実施
1 4 プラスチック製容器包装の再資源化の推進	○容器包装リサイクル法改正の動向を把握するとともに、回収方法・回収量等を検討し、費用対効果の検証
1 5 剪定枝等の再資源化の推進	○剪定枝等の小さな循環システム及び大きな循環システムの検討
1 6 生ごみの再資源化の推進	○生ごみ分別収集特別地区事業の実施 4地区 2,760世帯 収集量：300t
1 7 さらなる資源化品目の検討・推進施策	(新)使用済小型電子機器等の回収の実施 （回収品目：21品目、回収開始：平成26年2月、回収場所：市役所、区役所等）
1 8 事業所ごみの排出管理・指導の徹底	○ごみの分別・排出ルールを遵守していない事業者に対しての指導の強化 ○事業用大規模建築物への指導の実施 検査指導員（再任用職員）の導入による検査体制 立入調査予定件数 200件 対象予定施設数 470件 ○搬入物検査と連動した排出事業所への指導の実施
1 9 清掃工場における事業系ごみの搬入物検査の実施	○常時検査及び一斉検査の実施

基本方針 3 低炭素・資源循環へ貢献する、経済・効率性と安定・継続性に優れたシステムの構築を目指します。

計画事業名	主な取り組み
2 0 収集運搬体制の合理化	(新) 粗大ごみ収集運搬業務の委託化の実施（花見川区・稲毛区） ○低公害車の導入の奨励
2 1 民間の活用を取り入れた再資源化システムの構築	○民間施設を活用した生ごみの処理 生ごみ分別収集特別地区事業により収集した生ごみを、ガス化溶融施設及びメタン発酵ガス化施設でバイオガス化 処分量：300 t
2 2 焼却残渣の再生利用の推進	(新) 民間活用による焼却灰の再資源化の推進 ○ストックヤードを活用した溶融スラグの全量利用の促進
2 3 焼却処理施設の長期的な運用計画の推進	○焼却施設の維持管理における民間活用の継続・長期的な運用計画の検討 新港清掃工場における長期責任型運営維持管理の実施 北清掃工場における長期責任型運営維持管理の実施
2 4 最終処分場の適正管理	(新) 最終処分場の維持管理における民間活用の実施 最終処分場における長期責任型運営維持管理の実施 ○法令等に基づく適正な埋立処分の実施（即日覆土、中間覆土等） ○処分場から発生する浸出水の適正処理及び排水基準の順守（水質検査1回以上／月） ○処分場周縁地下水（観測井11本）の水質監視の実施（水質検査1回／月） ○処分場周辺の家庭用飲用井戸の水質検査の実施（調査予定地点360本／年） ○測量実施による埋立残余量の把握（1回／年） ○ダイオキシン類調査の実施（汚水処理場→浸出水1回／年、放流水2回／年、観測井2か所→1回／年、処分場土壌1か所→1回／年）
2 5 安定的な処理体制を目指したごみ処理施設の配置・整備計画の推進	(新) 新たな処理施設体制の構築に向けた検討 ○北清掃工場代替施設の整備内容の検討 ○最終処分場の再生・延命化に向けた検討 ○資源化品目の拡大等、収集体制の変更に併せた新浜リサイクルセンターの高機能化に向けた更新の検討
2 6 新たな資源化システムの検討	○安定的な処理を実現するための民間施設を含めた総合的なごみ処理システムの検討 ○エネルギー利用の強化に向けたごみ処理システムの検討
2 7 適正処理困難物等の処理推進	○適正処理困難物の処理についての検討及び促進

2 千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における目標値

	実績値							計画値	
	H16 (基準年)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H33 (目標年)
総排出量 (t)	423, 303	413, 214	397, 607	385, 812	381, 979	383, 816	385, 652	387, 967	364, 000
焼却処理量 (t)	337, 989	306, 805	292, 382	277, 293	267, 229	265, 191	264, 640	267, 578	220, 000
再生利用率 (%)	22. 3	28. 1	29. 1	31. 0	32. 9	32. 1	31. 5	34. 3	43
最終処分量 (t)	35, 207	30, 764	27, 503	23, 894	22, 335	29, 576	30, 856	21, 214	17, 000
温室効果ガス排出量 (t)	112, 000	113, 724	114, 371	110, 865	118, 098	99, 619	98, 610	117, 810	83, 000

(参考) 焼却ごみ量の推移

焼却ごみ量の削減目標と実績 (単位 トン)

年度	削減目標	削減実績	累計
18年度	-	-	330,692
19年度	20,000	23,887	306,805
20年度	15,000	14,423	292,382
21年度	15,000	15,089	277,293
22年度	10,000	10,064	267,229
23年度	6,000	2,038	265,191
24年度	2,000	551	264,640

※平成 25 年度は削減目標 1,500 トン
に対し 1,462 トンの減 (9 月末現在)

